

PFAS汚染から市民を守るための請願署名

(請願趣旨)

- 次々明らかになるPFASによる健康への影響
 - ・母体の血中濃度と赤ちゃんの染色体異常・低出生体重児や免疫力低下
 - ・コレステロール値の上昇による心疾患・動脈硬化など脂質異常症
 - ・甲状腺がん腎臓がんなど
- PFASは長く体内に残り続ける
2023・24年の二回の血液検査結果は、浄水器を付けるなど、これ以上体内にPFASを取り込まない対策をしても、1年経っても概ね大きな変化は見られなかったことから明らかです。
- 小児20名を含む検査参加者全員の血中にPFAS検出。一歳児の血中からもPFAS検出。
しかも三井水源地域の検査小児の約8割がPFAS4種(PFOS・PFOA・PFHxS・PFNA)合計で米國アカデミーの規制値20 ng/mL超えという深刻な事態が明らかになりました。

PFAS対策の要は、もうこれ以上PFASを取り込まないことです。欧米諸国では事実上PFAS「ゼロ」を目指し、規制を強めています。

各務原市も水道水対策が進められていますが、50 ng/Lを下がったから安全とは言い切れません。水道水にPFASは入っており、体内に取り込まれて、蓄積し続けているのです。子ども達の健康や発育を守るために、直ちにPFAS摂取を減らすことはできるはずですが。これ以上PFAS汚染が拡大しない様に、汚染源を特定し対応する必要があります。その為に次のことを求めます

(請願事項)

- 1, PFAS汚染源を特定し、市民に知らせること。
- 2, 小中学校等に浄水器の設置を求めます。
- 3, PFAS対策の家庭用浄水器の維持負担、水購入の負担に対する補助を、市に求めます。
- 4, 希望する市民が血液検査を公費で受けられるよう、市に求めます。

氏 名	住 所
	市
	市
	市
	市
	市

★姓や住所に「々」「同上」「〃」など省略せずにご記入ください。

呼びかけ団体

2025年
月

「PFAS汚染から
いのちの水を守る各務原市民の会」
問合せ先; 代表 今尾明美
各務原市蘇原月丘町3-26-11
電話 058-383-3674